

2年

学ぶ楽しさを味わい、進んで活動する子ども

〈ねらい〉

本学年の子どもは、関心があることには熱心に耳を傾けることができる一方、関心が薄いことには集中して聞くことがなかなかできません。耳からの情報だけでは、具体的に内容を理解したり、考えを深めたりすることは難しい面もあります。そこで、ICT機器を活用し、目からも情報を得ることで、子どもたちの「わかる」をサポートしたり、学ぶことの楽しさを味わわせたりすることができると考えました。さらには、「どうしてかな」「どのようになっているのだろう」という思いをもち、より一層主体的な学習に取り組むことができると考えました。

〈活動の様子〉

生活科の「生きもの はっけん」で育てている野菜の成長について実践を行いました。

授業では、前もってタブレットで定期的に撮影をしてきた画像をもとに授業を進めました。野菜の葉を拡大した写真を見せながら、野菜の種類をクイズ形式で出題したところ、子どもたちは特徴を見逃さないよう真剣に画像を見て考え、正解すると、歓声をあげていました。

次に、テレビの画面を四分分割して、それぞれの野菜の成長の課程を確認しました。タブレットの拡大機能を活用して、画像をより見やすくしました。写真を大きくすることで色や形の違いを見比べ、野菜の特徴をしっかりと捉え、「どの野菜も同じ順番で育っている」という発言を引き出すこともできました。

こうした活動を通して、野菜の特徴や成長の様子をより理解し、楽しさを感じながら学ぶことができました。

後期は、子どもたち一人一人がタブレットを使うことで、より進んで活動に取り組めるようにしていきます。



【画像を見てクイズに答える様子】



【成長過程を確認する様子】